

迦葉山三世天山見亮大和尚開創 五百年の古寺 利根沼田横道三十三観音霊場 十八番札所

石尊山 観音寺

〒378-0074 群馬県沼田市下発知町332
TEL. 0278-23-9410
E-mail: info@kan-nonji.com
URL: <http://www.kan-nonji.com>

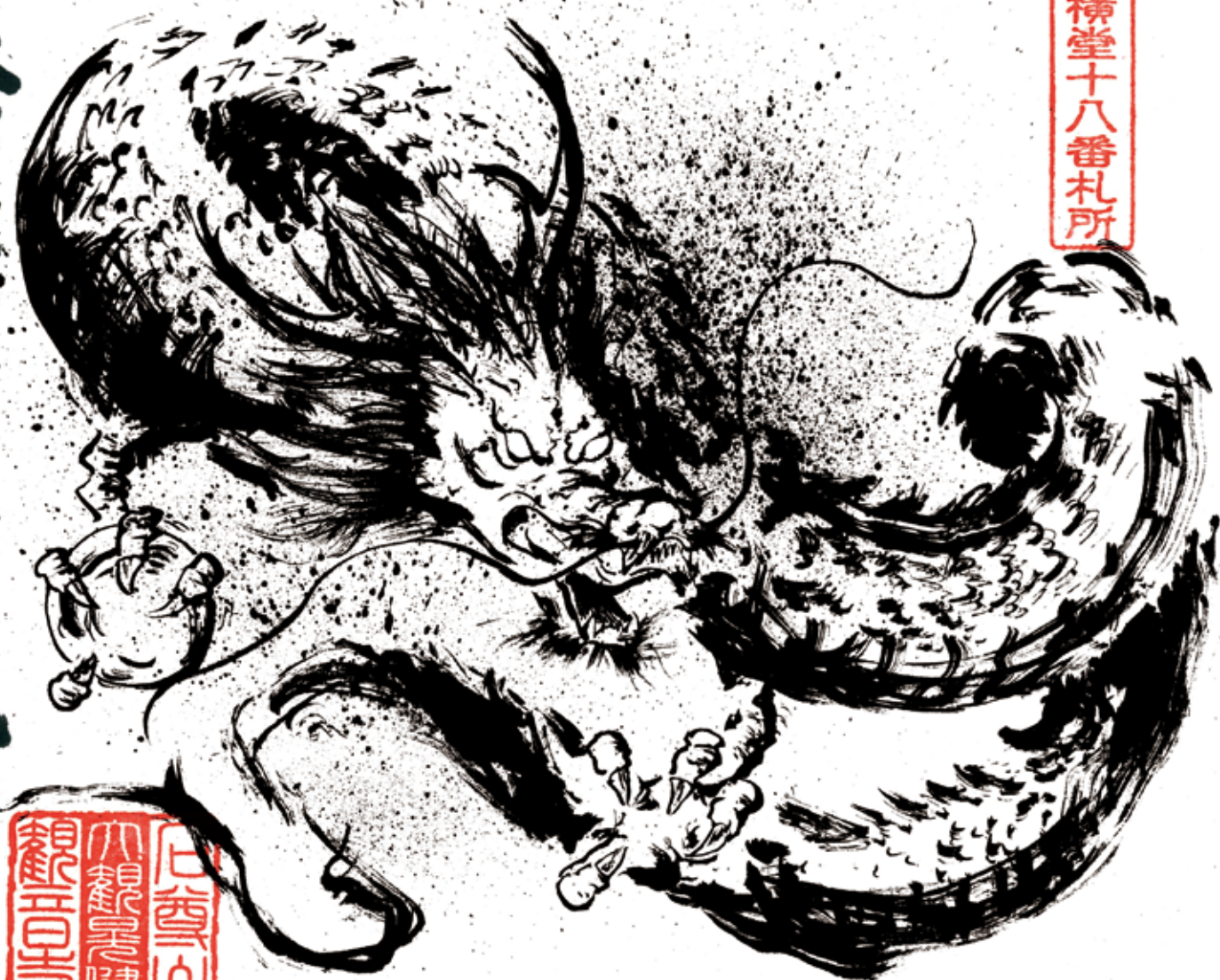
— 第 22 号 —

2020年1月1日 発行

Kannon-ji Temple

利根沼田横道十八番札所

上州沼田石尊山観音寺



ごあいさつ

住職 五十木 晃 健

いかるぎ こうけん

新元号での初めての年明けを迎えました。今年も無事に皆さまへご挨拶できますことを嬉しく思います。

この一年を思い返し、真つ先に皆さまへ感謝したい出来事は、本堂の畳の張替えです。

じつはこれまで観音寺にあった畳は、何十年も前に近隣の旅館からいただいたものだそうです。そのため寸法があわず、ところどころ床板が見えていました。

そこで、二年前の秋に行つた道路の舗装に本堂屋根塗りの替えに引き続き、寺の改装の一環として、畳の張り替えをすることにしたのです。檀家さまに快く寄付いただけただお陰で、節分を控えた一月に張り替えることができました。

張り替えの当日、畳屋さんが作業を行うあいだ、総代役員さんと少しお手伝いさせていただいたところ、床板と畳

のあいだには、前回畳を頂いたときの新聞が挟まれていました。そのうちの一枚を手にとると、発行日は昭和三十九年。一度目の東京オリンピックの年だったのです。二度目の開催を控えたいま、何か運命的なものを感じました。

こうして無事に張り替えが終わり、いぐさの匂いが香るピカピカの畳で、豆まきに参加する方々をお迎えできました。本堂に一步に入るとすぐに笑顔があふれ、「綺麗な畳だね」と喜んでくださり、例年以上に笑顔の多い節分になったのです。お力添えいただいた皆さまには感謝してもしきれません。

また、皆さまと楽しいひとときを過ごせた、七月の檀信徒旅行もとても印象に残っています。檀信徒旅行とは、隔年檀家さんを中心に参加者を募る観音寺の“大人の修学旅行”です。

今年はどこに行こうと悩んでいたところ、「歌舞伎を観にいきたい」という希望をいただき、運良く『七月大歌舞伎』のチケットを取ることができました。市川海老蔵さんと、息子の勘玄くんも出るとのこと、参加者を募集しはじめるとすぐに定員いっぱいになってしまったのです。

とはいえじつは、私含め参加者のほとんどは今回が初めての歌舞伎鑑賞でした。期待と不安に胸を躍らせながら席に着きましたが、幕が上がるに驚きの連続ですつと心が弾みっぱなしでした。参加者の皆さまもとても感動した様子で、「冥土の土産ができた」「観る機会を作ってくれてありがとう」と喜んでくださったのです。

どうしても交通が不便な土地柄、興味はあってもなかなか腰が上がりません。こうして機会を設けて皆

さまと足を運び、楽しさを共有できたことを、とても嬉しく思います。他にも、ますます多くの方に御朱印をお求めいただいていることや、新たに桜の樹木葬を受け付け開始したところ

沢山のご希望をいただけたことなど、印象深い出来事を挙げればきりがありません。

今年も観音寺を愛してくださる皆さまのために、いろんな試みができればと考えておりますので、引き続きお力添えのほどよろしくお願い致します。



観音寺旅行 東京歌舞伎座

檀信徒の皆様と東京歌舞伎座に観劇に行つてまいりました。

一年おきに企画しています檀信徒の皆様との研修旅行です。一昨年と同様に今回も東京に行つてまいりました。

歌舞伎座の他にとげぬき地蔵や巢鴨商店街を散策し賑やかな時間を共に過ごすことができました。ありがとうございました。

七月二十三日(火)、あいにくの曇り空でしたが過ごしやすい日となりました。

昨年は梅雨が長く続き日照不足が心配される年でした。

今回の旅行のメンバーは東京歌舞伎座での観劇です。

市川海老蔵の息子の堀越勸玄くんの外郎売りなど、なかなか見ることでできない歌舞伎の演目に感動をおぼえ、またこのような機会を檀信徒の皆様と得られれば良いと感じました。



▶ 巢鴨とげぬき地蔵尊高岩寺本堂前にて

会計が代わりました

昨年五月に亡くなられ、お寺の会計業務に今までご尽力いただきました松井修一(下発知)様。ご冥福をお祈りいたします。

松井様に代わり昨年からの「金子民之介(戸神)」様に引き継がれました。

これからよろしくお願い申し上げます。

新年の年頭周り

一月四日(金)に新年の年頭周りをさせて頂きました。こうやって新年のご挨拶回りをさせていただくことで檀信徒の皆様顔をみることが出来ます。

境内草刈り

毎年行われている観音寺境内の草刈りを檀信徒の皆様のご協力により八月四日(日)に行いました。

七月は梅雨空が続くような

日が多かったのですが、八月に入ると打って変わって猛暑の日が続きました。この日も猛暑で作業をしている皆様も水分補給をしながら熱中症に気をつけながらの作業でした。暑い中ありがとうございました。



▲ 境内草刈りの様子 ▲

● 新年登山

新年の恒例行事となりました「甘酒のふるまい」を戸神山(石尊山)山頂で加藤喜久様の協力により元旦の日の出と共にさせていただきました。

毎年この日を迎えると気持ちも新たにります。



▶ 山頂で日の出を迎える

● 境内清掃

障害福祉サービス事業所アルモ二様に、平成二十九年から境内清掃をお願いしています。六月から十一月の毎週木曜日をお願いしていますが、おかげさまで境内も綺麗になり、また、本堂の掃除も時には行っていた大変助かります。

ご寄付御礼

檀信徒の皆様からの多大なるご寄付により、観音寺本堂の屋根の塗り替えと、本堂内の畳を新しくすることができました。紙面をお借りしまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

■ご寄付ご芳名（順不同敬称略）

井村よね	小海ひさ	星野実	関野正敏	星野悦男	田村右次	○2万円	戸丸あい子	金子陽一	宮下和夫	松井修一	角田二郎	尾身広志	○3万円	金子勇	○4万円	木樽保夫	松井敦夫	○5万円	金子善吉	阿部三郎	○6万円	松井勇	石井さと美	松井きち	佐藤富二	嶋田正彦	阿部春雄	松井則雄	芝崎滋	松井隆	松井輝雄	林達弥	茂木勝彦	小菅優喜	松井五郎	吉澤淳	金子常雄	金子肇	米田武史	金子高志	金子文雄	三子昭一	金子民之介
木樽俊明	木子公	金子司	松井庄次郎	笛木久江	阿部新治	林利幸	綿貫勇	綿貫才	長谷川忠昭	山本道裕	後藤信雄	栗島登茂子	阿部ユウ子	松井美千代	峰川幸広	富澤次夫	金子明	吉田亘宏	○1万円	都丸伸二	○5万円	木樽一郎																					

■収支報告

収入

○寄付金

平成三十年十二月二十八日

1、155、000円

平成三十一年一月二十二日

160、000円

平成三十一年一月二十九日

20、000円

平成三十一年二月五日

40、000円

寄付金総額

1、375、000円

支出

○本堂屋根修繕費

677、331円

○畳下・床補強工事費

19、062円

○へり付新畳替費

620、460円

○古畳処分費

22、200円

修繕費合計

1、339、053円

以上ご報告いたします



▲塗り替える前の本堂屋根



▲畳替え前の本堂内



▲畳替えにより綺麗になった観音寺本堂

▼綺麗に塗り直された本堂屋根の前で檀信徒の皆様と記念写真





大般若祈祷会・施食会

毎年行っております「大般若祈祷会」と「施食会」を、八月十六日(金)に行いました。

昨年は天候が不順な日が続き、この日も曇り空で朝のうちは雨模様の日でした。そのような日でも集まってくくださる檀信徒の皆様へ感謝の思いでいっぱいです。

大般若祈祷会では、迫力の「転読」(經典をめぐりながら陀羅尼を大きな声で唱える)により「無病息災」「家内安全」「心願成就」など世の人々の開運招福のため心を込めてご祈祷させていただきました。

また、「施食会」では、先祖代々の法要をさせて頂きました。

また、この日は檀信徒の皆様が多くがお集まりになるということで、護持会の総会が同日行われ、また、総会後一昨年に観音寺本堂の屋根を塗り直した記念として、檀信徒の皆様と本堂前で記念撮影をさせて頂きました。数十年に一度の屋根の塗り直しは一大事業です。ご寄付やご協力いただいた方々に感謝の念がたえません。

観音寺を想ってくださる檀信徒の皆様がいてこそのお寺なのだ改めて感謝いたします。皆様ありがとうございました。

※大般若祈祷会だいはんにゃきとつて唐の三蔵法師がインドから持ち帰った「大般若波羅蜜多經」六百巻を転読、祈祷する法要です。日本では、千三百年以上の伝統があり家内安全・厄除開運・無病息災等、諸祈願を致します。

※施食会(せじきえ) 仏教の世界には六道といわれる六つの世界があります。この六道の一つである餓鬼道(がきど)に堕ちて苦しんでいる無縁仏様を供養し、先祖代々の法要が施食会です。



▲護持会総会の様子



▲施食会

石尊山 観音寺



▲来山した子供たち

法要後境内では「前橋ケー
ナサークル鳥と風」様によるコ
ンサートや「男の料理教室有
志」によるカレーの振る舞い。
本堂では「茂野宗友社中」様
のご協力によりお茶会なども行
われました。



▲花まつり法要

お釈迦様の誕生を祝う「花
まつり」を、昨年も例年通り四
月八日の月遅れの五月八日(木)
に行いました。一昨年はあいにく
の曇天でしたが、昨年は晴天
に恵まれ気持ちの良い日とな
りました。

檀信徒の皆様をはじめ、地
域の方々など多くの人々で賑
わい、「花まつり法要」、「戸神山
(石尊山)登山安全献茶祈願
祭」を執り行い、お釈迦様の誕
生を祝い、また、今年一年安全
に登山できるよう祈願致しま
した。

演奏イベントも多く、ライ
アー演奏「音紡ぎの会」の皆様
に本堂内で演奏をしていただ
き、美しいライアーの音色を参
加者の皆様も楽しんだよう
です。

また、今回の花まつりには、
沼田市内の保育園児が来山さ
れました。やはり子供たちの笑
顔とその笑い声が境内に響き
渡ると、普段静かな観音寺が
いつきに生命力に満ち溢れま
す。

毎年の事ですが、参加して
くださる方々のご協力によつて
開催することができ「花まつ
り」です。

人々が笑顔で集い、お茶を
いただき、カレーを食べ、法要を
行う、桜の花びらが散ったあと
の観音寺に、また笑顔という花
が咲き誇ります。

▼花まつり参加者記念写真





九月十六日(月)、昨年は敬老の日(祝日)とかさなり開催された第六回「観月音(かんげつね)」。月を観て、音を楽しむイベントです。当日は曇り空でしたが、夕方になると少し晴れ間も見える日となりました。戸神山(石尊山)に登って山頂に着くとまだお月様は登っておらず、月を見るには時間的に早いようで、山頂でのお月見は断念して下山することとなりました。自然が相手のことなのでしかたがありません。

しかし、もう一つの大きなイベント「音を楽しむ観月音」はいつものように大盛況でした。戸神山(石尊山)から下山後、少しの休憩をはさみ、ソプラノ歌手「理寛寺尚子」様のコンサートが行われました。今回で三回目の公演となるポップス尺八「すみれ」様の昭和の歌謡曲を尺八で演奏するコンサートも大盛況でした。

一昨年も昨年も残念ながら戸神山(石尊山)山頂からのお月見はかないませんでした。参加者の皆様の心のなかには「笑顔」という満月が届いたことと思います。



▲ポップス尺八すみれ、昌平様ミニコンサート



▲元気に戸神山(石尊山)に向かう



▲理寛寺尚子様ミニコンサート



▲観月音で飾られた生花

観月音を彩る生花
今年も観月音に、本堂を華やかに彩る生花を沢山彩っていただきました。
満月をイメージするような生花を見ると月を見るだけが「お月見」ではないことが伝わります。観音寺に集う人々が本当の意味でのお月さまなのかもしれません。
観音寺でのお月見と、音楽の祭典にふさわしい花々に感謝にたえず、感動ひとしきりです。
堀地千春様、小田貴香様、小田佳枝様をはじめ皆様方去年もありがとうございました。



▲本堂での豆まき



▲戸神山(石尊山)山頂で元気に豆をまく

ジュンマキ堂の皆さんには戸神山(石尊山)に登っていただき、山頂でのミニコンサートのあと盛大に豆をまきを手伝っていただきました。何も遮るものがないパノラマの絶景のなか

ご祈祷の後、本堂での豆まきが盛大に行われ、昨年も小学生戸神山登山でお世話になっている「ジュンマキ堂」の皆さんにミニコンサートを行っていただき、また、豆まきにも参加していただきました。大変盛り上がりました。

二月三日(日)の節分に、第五回目となる「戸神山(石尊山)豆まき」と新年祈祷が行われました。
この日は晴天でしたが、山頂に登ると雲も多く風が吹くとやはり寒かったです。比較的暖かでした。昨年も多くの皆様にお集まりいただき大変感謝しています。

戸神山(石尊山) 豆まき

大変気持ちの良い時間を過ごすことができました。

毎年開催できるのは戸神山(石尊山)登山愛好者の皆さんのご協力があつて開催できます。大変感謝です。冷えた身体を温めていただきたと「あつらえ」様に暖かい料理を出していただきました。



9 ▲戸神山(石尊山)山頂でのジュンマキ堂のミニコンサート

子供たちや 中国からも来山

今年も多くの子供たちや、中国北京大学大学院の学生など多くの方が観音寺に来山され、坐禅体験や境内活動など様々な行事を行いました。

昨年に引き続き八月八日(木)・十一月九日(土)にワクワクスクールの子供たちが観音寺に来山されました。

また、五月四日(土)に前橋の城南柔道愛好会の子供たち。そして八月三日(土)・四日(日)に中国は北京大学大学院の学生も来山されました。

みなさん山寺体験や講話、境内でのスクール活動など、様々な行事を行いました。

観音寺に訪れてくださっていた皆様が幸せそうに帰っていく、そして「また来ますね」の言葉をのこして去っていく。人々が訪れる寺を目指していたことが実現され、本当に感謝に堪えません。



▲境内活動と坐禅を体験するワクワクス쿨のみなさん▲



▲北京大学大学院の学生のみなさん



▲城南柔道愛好会のみなさん

桔梗俳句会の皆様が句会を開催

五月九日(木)の新緑が盛りの頃に「桔梗俳句会」の皆様が来山され素晴らしい句を読まれました。ここに紹介いたします。

ささぎまの若葉重ねて寺の徑

杏子

観音の背をすべり落つ新樹光

登志絵

洗心の池に慈愛の新樹光

久代

絵障子へ若葉を加へ観音寺

順子

山の水受ける石かな桜しべ

かりな

新緑に御朱印の旗はためけり

章子

をちこちの緑の衣山の寺

あや子

五十音順

ほほえみの十二観音山笑う

孝四郎

山寺に代掻く音の届きけり

康平

山頂へ蒲公英つく風に揺れ

富子

住職の袈裟に遊ぶや初夏の蝶

雅代

朱の屋根や寺の参道薫る風

明男

ラフターヨガの笑い声

今年もラフターヨガの皆様が来山され五月二十五日(土)・二十六日(日)の二日間にわたりイベントを開催されました。

新緑の境内に幸せな笑い声が響き渡り、まるでほほえみ十二観音様も一緒に笑っているようにうでした。



▲参道前で記念写真

子供たちの笑い声が 石尊の山に響きわたる

小学生の戸神山登山

戸神山(石尊山)の小学生登山が昨年も行われました。

観音寺は子供達の休憩地とトイレの提供、そして元気に子供達に登っていただけるようなイベントを企画しています。

五月十五日(木)は沼田東小学校の登山です。今回もジュンマキ堂のみなさんが子供たちの応援に来て下さいました。五

月二十四日(金)は沼田池田小学校戸神山登山。この時に応援に駆けつけてくださったのは

「上州真田武将隊」のみなさんでした。

上州真田武将隊のみなさんは本堂内で演武や踊りを披露してくださり、綺麗な姫様やかっこいい武将姿に大変喜んでいました。



▲上州真田武将隊



▲ジュンマキ堂のみなさんも応援して下さいました。

書き初め指導

毎年行っています「書き初め」。特に池田小学校と薄根小学校では体育館での大書き初めを行っています。

一月の厳しい寒さのなかでも子供たちはのびのびと筆を走らせ、日頃書に親しんでいる私でも、びっくりするほど良い字を書く児童がなんと多いことか。毎年のことながら驚かされます。またご協力をいただいた河野太一住職、お世話になりました先生方ありがとうございました。

各種講話を行っています

企業様や各種団体の皆様から依頼され講話を行っています。

三月五日(火)女性団体連絡協議会様から、四月三日(木)には沼田プロバスクラブの皆様に住職になる前に経験したことや、仏教に関連した法話をさせていただきます。

いつも皆様真剣に聞いていただきありがとうございます。



11 ▲女性団体連絡協議会研修会の講話の様子



▲薄根小学校大書き初め



▲池田小学校大書き初め

新年度役員のご紹介

総代長 阿部 三郎(下発知)

総代 木樽 保夫(戸 神)

総代 松井 敦夫(下発知)

世話人 尾身 広志(下発知)

宮下 君子(下発知)

金子 陽一(戸 神)

吉澤 民枝(戸 神)

会計 金子民之介(戸 神)

書記 角田二郎(下発知)

平成三十一年・令和元年
ご寄付・ご奉仕お礼

献花沢山 角田 和子殿

堀地 千香殿

小田 貴香殿

小田 佳枝殿

節分会お手伝い

戸神山(石尊山)愛好者の皆
さん

お盆お手伝い 松井 桂子殿

花まつり大鍋

セレモニーホール優花殿

花まつりお茶席支援協力

茂野宗友社中 下発知町

戸神山(石尊山)愛好者の皆

さん

家族葬ホールまごころ殿

手作りカレー

男の料理教室有志

各種演奏

前橋ケーナサークル鳥と風殿

音紡ぎの会殿

理寛寺尚子殿

すみれ殿

昌平殿

ジュンマキ堂殿

境内草むしり・本堂清掃

障害福祉サービス事業所ア

ルモ二殿

振り子時計

坂本敬彦 久江 ご夫妻殿

可愛らしい地藏五体

鈴木伊津子殿

お借り致しました

道路拡張土地 佐藤 富二殿

案内板・のぼり旗設置場所

松井 修一殿 阿部 春雄殿

松井 隆殿 松井 和幸殿

松井 康治殿 太田 延夫殿

沼北自動車殿 関上 和寿殿

下発 知町

樹木葬用道路用地

松井 理美殿

その他、地域・檀信徒の皆様にはご協力頂きありがとうございます。紙上より厚く

御礼申し上げます。

観音寺年間予定

一月三日……………年頭廻礼

二月三日……………豆まき

五月八日……………花まつり

八月上旬……………境内清掃

八月十六日……………お盆施食会

十月四日……………観月音



桜樹木葬を始めました。

令和元年五月一日開園

昨年境内の一部を整備して

桜樹木葬墓地を開園致しまし

た。その名も「桜樹木葬墓地」

春には観音寺境内に多くの桜

が咲き誇ります。

その桜の花のもと永代の眠

りができるようにと造成し、ま

たより一層華やかとなるよう

ソメイヨシノも多く植樹いた

しました。

現代ではお墓を継ぐ人がい

ない、子供に迷惑をかけたくな

いなど、様々な理由から「永代

供養墓」を選ぶ方が多くい
らっしゃいます。

観音寺ではそういった方々

のために「永代供養墓いのちつ

ないで」や「樹木葬墓地」「自然

葬墓地」などをご用意させてい

ただきました。

今回販売代理「山櫻株式会社

社」様のご協力を得て「桜樹木

葬墓地」を開園し令和元年五

月一日より販売を始めました。

お墓でお困りの方々の助け

となれば幸いです。



▲桜が咲き誇る境内



▲シバザクラに囲まれ安らかな眠りを